



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 株式会社プラザクリエイト本社 上場取引所 東  
 コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 中村 守宏 TEL 03-3532-8812  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,217	△16.3	△293	—	△300	—	△321	—
2022年3月期第1四半期	5,041	34.8	△54	—	△38	—	△69	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △314百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △77百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△26.49	—
2022年3月期第1四半期	△5.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	11,020	2,246	20.4	185.04
2022年3月期	12,129	2,682	22.1	220.90

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,246百万円 2022年3月期 2,682百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	22,000	1.3	150	29.5	250	1.0	150	24.2	12.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	13,836,258株	2022年3月期	13,836,258株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,693,001株	2022年3月期	1,693,001株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	12,143,257株	2022年3月期1Q	12,339,557株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、まん延防止等重点措置の解除により、3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークとなりました。一方、長期化するウクライナ情勢や円安による物価上昇・原材料価格の高騰等により、経済の先行きは不透明な状況にあります。

このような事業環境において、当社グループは引き続き、モバイル事業の継続的成長と、パレットプラザをはじめとしたイメージング事業の新たな収益の柱となる事業の創造に積極的に取り組んで参りました。

モバイル事業におきましては、オンライン販売を通じた格安プランの台頭など事業環境は大きく変化しており、そのような中で「SoftBank」ブランドと「Y!mobile」ブランドのそれぞれの特長とお客さまのニーズに照らし合わせて料金プランをご案内することで、お客さまの多様なニーズに対応してまいりました。

「Y!mobile」ブランドへの移行を希望されるお客さまが殺到した前第1四半期連結累計期間と比べるとスマートフォンの販売台数が減少したことと併せ、通信キャリアの支払条件の見直しにより販売インセンティブ手数料が減少したことにより、契約1件当たりの利益率は減少しております。

また、店舗外での販売イベントを積極的に実施した結果、派遣スタッフ費用が大幅に増加しました。

なお、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、107店舗となっております（前連結会計年度末109店舗、前第1四半期連結累計期間末99店舗）。

デジタルデバイスや周辺ソリューションへの企業ニーズが高まってきていることから、法人営業部門の人員を拡充し、当社の店舗に来店される法人顧客に対しましては、端末の販売に加え、企業のDX推進をサポートしてまいりました。

以上の結果、モバイル事業の業績は、減収、減益となりました。

イメージング事業におきましては、iPhone修理の「アイサポ」を展開する株式会社ギア（本社：東京都新宿区）と提携して、「パレットプラザ」内でスマホ修理サービスをスタートしており、2023年3月までにパレットプラザ100店舗で同サービスを実施することを目指しております。

なお、パレットプラザの店舗数は、当第1四半期連結累計期間末には、フランチャイズ店舗234店、直営店舗10店となりました（前連結会計年度末フランチャイズ店舗239店、直営店舗は8店、前第1四半期連結累計期間末フランチャイズ店舗258店、直営店舗は13店）。

新たなお客様との接点を増やす方法として、ポップアップストア専門部署を設置して、開催場所の選定から運営まで行える体制を整え、『つくるんです®』の知名度とブランド認知向上に努めました。

“オンライン会議のための個室空間” パーソナル・ミーティング・ボックス「One-Bo（ワンボ）」の販売実績は、好調に推移しています。引き続き販売体制と製品増産体制の構築を強化してまいります。

新たな収益の柱となる事業開発にコストを要したものの、イメージング事業の業績は、減収、赤字額の縮小となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、42億17百万円（前年同期比16.3%減）となり、営業損失2億93百万円（前年同期：営業損失54百万円）、経常損失3億円（前年同期：経常損失38百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3億21百万円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失69百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①イメージング事業

当第1四半期連結累計期間のイメージング事業においては、直営店舗数の減少及び新規事業開発コストを計上したことなどから、売上高は6億89百万円（前年同期比21.4%減）、セグメント損益は1億37百万円の損失（前年同期：1億58百万円の損失）となりました。

②モバイル事業

当第1四半期連結累計期間のモバイル事業においては、前第1四半期連結累計期間の新料金プラン移行からの反動及び、販売インセンティブ手数料が減少などにより、売上高は35億27百万円（前年同期比15.3%減）、一方のセグメント損益は、2億4百万円の損失（前年同期1億28百万円の利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産の額は110億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億8百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が7億74百万円、その他流動資産が4億8百万円、商品及び製品が2億11百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債の額は87億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億73百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が4億91百万円、短期借入金が2億83百万円それぞれ減少し、その他流動負債が1億11百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産の額は22億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億35百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失3億21百万円、配当金の支払額1億21百万円により利益剰余金が4億43百万円減少したことなどによるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の22.1%から20.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,406,497	1,584,706
受取手形及び売掛金	2,121,121	1,346,775
商品及び製品	2,369,040	2,157,151
原材料及び貯蔵品	105,548	174,078
貸倒引当金	△10,590	△10,590
その他	1,076,976	668,446
流動資産合計	7,068,593	5,920,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,313,549	2,307,924
減価償却累計額	△1,072,567	△1,082,140
建物及び構築物（純額）	1,240,981	1,225,784
機械装置及び運搬具	703,560	695,709
減価償却累計額	△694,710	△684,534
機械装置及び運搬具（純額）	8,849	11,174
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	1,183,367	1,176,020
減価償却累計額	△1,144,033	△1,144,845
リース資産（純額）	39,333	31,175
その他	744,865	832,386
減価償却累計額	△556,069	△558,828
その他（純額）	188,796	273,557
有形固定資産合計	2,989,210	3,052,941
無形固定資産		
のれん	263,596	246,809
リース資産	52	45
その他	168,630	157,031
無形固定資産合計	432,280	403,886
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,379,898	1,377,263
その他	271,436	277,990
貸倒引当金	△12,290	△12,290
投資その他の資産合計	1,639,045	1,642,963
固定資産合計	5,060,536	5,099,791
資産合計	12,129,130	11,020,359

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,489,251	997,945
短期借入金	3,188,750	2,904,997
リース債務	123,949	100,850
未払法人税等	6,226	1,556
賞与引当金	139,347	63,353
その他	647,119	758,907
流動負債合計	5,594,645	4,827,612
固定負債		
長期借入金	3,362,796	3,475,595
リース債務	52,729	39,016
退職給付に係る負債	37,680	37,680
資産除去債務	174,439	169,199
長期預り保証金	186,171	186,077
その他	38,218	38,210
固定負債合計	3,852,036	3,945,778
負債合計	9,446,681	8,773,390
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,496
利益剰余金	1,914,109	1,471,011
自己株式	△582,698	△582,698
株主資本合計	2,659,906	2,216,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,541	30,159
その他の包括利益累計額合計	22,541	30,159
純資産合計	2,682,448	2,246,968
負債純資産合計	12,129,130	11,020,359

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	5,041,260	4,217,048
売上原価	3,390,912	2,869,380
売上総利益	1,650,348	1,347,668
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	174,563	162,948
給料手当及び賞与	597,751	542,255
賞与引当金繰入額	67,730	63,056
雑給	68,754	35,643
賃借料	238,531	230,747
支払手数料	290,925	343,138
のれん償却額	2,878	16,787
その他	263,436	246,325
販売費及び一般管理費合計	1,704,572	1,640,902
営業損失(△)	△54,224	△293,234
営業外収益		
受取利息及び配当金	437	1,333
協賛金収入	6,453	28
償却債権取立益	7,900	1,500
為替差益	342	2,867
その他	15,675	9,327
営業外収益合計	30,808	15,056
営業外費用		
支払利息	14,151	14,190
その他	547	8,296
営業外費用合計	14,698	22,487
経常損失(△)	△38,114	△300,664
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
減損損失	19,302	16,840
店舗閉鎖損失	12,138	2,650
特別損失合計	31,440	19,490
税金等調整前四半期純損失(△)	△69,554	△320,155
法人税、住民税及び事業税	2,455	1,556
法人税等調整額	△2,396	△46
法人税等合計	58	1,510
四半期純損失(△)	△69,613	△321,665
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69,613	△321,665

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△69,613	△321,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,998	7,618
その他の包括利益合計	△7,998	7,618
四半期包括利益	△77,612	△314,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△77,612	△314,047
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	877,272	4,163,988	5,041,260	5,041,260	—	5,041,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	877,272	4,163,988	5,041,260	5,041,260	—	5,041,260
セグメント利益又は損 失(△)	△158,498	128,101	△30,396	△30,396	△23,827	△54,224

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△23,827千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△99,967千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額76,140千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した店舗等の固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、前第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において2,735千円、「モバイル事業」において16,566千円であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	689,190	3,527,858	4,217,048	4,217,048	—	4,217,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	689,190	3,527,858	4,217,048	4,217,048	—	4,217,048
セグメント利益又は損 失(△)	△137,081	△204,620	△341,701	△341,701	48,467	△293,234

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額48,467千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△69,882千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額118,350千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した店舗等の固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において9,978千円、「モバイル事業」において6,861千円です。